

第154回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年1月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,839	-2.62	-0.20	4,036	-1.36	-0.14
東部地区	14,363	0.69	0.08	5,619	1.55	-0.05
西部地区	10,865	0.72	0.04	4,023	1.51	0.22
駅南地区	6,434	0.09	0.26	2,693	2.16	0.37
半田地区	3,602	1.15	-0.35	1,337	3.16	-0.07
横山地区	5,672	-0.24	-0.15	1,848	-0.05	0.05
茨目・田尻地区	6,975	1.04	0.22	2,326	1.30	0.25
荒浜地区	5,165	-1.26	-0.30	2,006	-0.49	-0.09
その他地区	21,218	-1.75	-0.10	7,166	-0.31	-0.01
西山町地区	6,400	-2.08	-0.14	2,139	-1.01	-0.23
高柳町地区	1,989	-3.02	0.10	840	-1.29	-0.11
柏崎市計	92,522	-0.67	-0.03	34,033	0.44	0.02
刈羽村	4,951	-0.42	0.14	1,539	1.45	-0.06
小国地区（長岡市）	6,511	-1.33	-0.13	2,158	0.32	0.00
出雲崎町	5,308	-0.89	0.16	1,825	-0.05	-0.10
合計	109,292	-0.71	-0.02	39,555	0.45	0.01

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で625人、0.67%、刈羽村で21人、0.42%、小国地区（長岡市）で88人、1.33%、出雲崎町で48人、0.89%とそれぞれ減少し、全体では782人、0.71%の減少となった。

また、前月比においても、刈羽村で7人、0.14%、出雲崎町で9人、0.16%と増加したものの、柏崎市で37人、0.03%、小国地区で9人、0.13%と減少したことから、全体では30人、0.02%の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で1世帯、0.05%と減少したが、柏崎市で151世帯、0.44%、刈羽村で22世帯、1.45%、小国地区で7世帯、0.32%と増加した結果、全体では179世帯、0.45%の増加となった。

また、前月比においては、刈羽村で1世帯、0.06%、出雲崎町で2世帯、0.10%と減少したものの、柏崎市で7世帯、0.02%と増加したことから、全体では4世帯、0.01%と僅かに増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	864		-37.34		-5.57	
月間有効求職者	1,457		48.52		26.47	
月間有効求人倍率	0.59	0.50	-0.82*	-0.40*	-0.20*	-0.10*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が864人と前年同月比で515人、37.34%の大幅な減少、前月比でも51人、5.57%と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,457人と前年同月比で476人、48.52%の大幅な増加、前月比でも305人、26.47%の大幅な増加となった。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.59倍と前年同月比で0.82ポイント下回り、前月比でも0.20ポイント下回るなど、ともに大幅な悪化を示している。なお、県平均0.50倍に対しては0.09ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が295人と前年同月比で199人、40.28%の大幅な減少となった反面、月間新規求職者数は589人と前年同月比で262人、80.12%と大幅に増加した結果、月間新規求人倍率は0.50倍となり、前年同月の1.51倍に対しては1.01ポイントと大幅に下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年1月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	35	-35	-11	783	292
共 同 住 宅	1	0	0	6	-6
事 務 所	0	-1	-1	8	-1
作 業 所 ・ 工 場	0	-4	-1	17	-6
営 業 建 物	0	-1	0	26	6
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	4	0	-5	106	12
合 計	40	-41	-18	947	297

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が40件と前年同月比で41件の減少、前月比でも18件の減少となっている。工種別での主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で35件の大幅な減少、前月比でも11件の減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が20件、増築が13件、改築が7件となっている。また、一般住宅（併用）35件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が19件（うち新築9件、増築7件、改築3件）、市外施工業者が16件（うち新築8件、増築4件、改築4件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,550	0.02	-0.52	27,923	-0.90	24.51
電 力	11,542	-3.04	-0.12	36,568	-21.88	-8.70

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で14口、0.02%の増加となったものの、前月比では344口、0.52%と減少している。一方、電力では前年同月比で363口、3.04%の減少、前月比でも14口、0.12%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で255kwh、0.90%の減少となったが、前月比では5,497kwh、24.51%と大幅に増加している。一方、電力においては前年同月比で10,246kwh、21.88%の大幅な減少、前月比でも3,487kwh、8.70%と減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,735,937	-4.41	22.53	686,234	-1.27	2.11
営 業 用	317,611	-4.54	31.46	112,972	-7.78	-4.54
工 場 用	626,039	-19.59	-2.60	115,635	-12.76	-7.57
官 公 学 校 用	735,913	4.22	50.74	79,268	2.90	3.88
そ の 他				72	-52.31	75.60
合 計	3,415,500	-6.00	22.45	994,181	-3.22	0.23

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で218,040m³、6.00%の減少となったものの、前月比では626,285m³、22.45%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用を除く全ての用途で減少しているが、前月比では工場用を除く全ての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で33,125m³、3.22%の減少となったが、前月比では2,369m³、0.23%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用を除く全ての用途で減少しており、前月比では家庭用、官公学校用、その他で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	70,421	2.50	-18.63	74,349	3.60	-17.65
西 山	41,953	7.68	-23.61	38,640	10.64	-24.01
米 山	17,925	8.15	-19.90	17,110	8.78	-21.92
合 計	130,299	4.88	-20.47	130,099	6.28	-20.21

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で6,068台、4.88%の増加となったものの、前月比では33,552台、20.47%と大幅に減少している。一方、出口においても、全体では前年同月比で7,688台、6.28%の増加、前月比では32,957台、20.21%の大幅な減少となっている。インター別の内容を見ると、3ヵ月連続で全てのインターの入口・出口において前年同月比では増加し、前月比では大幅な減少となった。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	350,643	1.35	-0.56	152,977	2.23	1.06
平 残	348,851	0.78	0.15	149,476	4.29	0.93

預金は、末残が前年同月比で4,676百万円、1.35%と増加したものの、前月比では2,007百万円、0.56%の減少となり、平残は前年同月比で2,722百万円、0.78%の増加、前月比でも536百万円、0.15%と増加している。一方、貸出金においては、末残が前年同月比で3,341百万円、2.23%の増加、前月比でも1,612百万円、1.06%の増加となっている。また、平残も前年同月比で6,161百万円、4.29%の増加、前月比でも1,391百万円、0.93%の増加となった。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	4,852	-18.35	-11.87
交 換 金 額	4,369	-12.00	-18.54
不 渡 り 手 形 枚 数	5	0.00	-16.66
不 渡 り 手 形 金 額	3	0.00	177.15

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、当月末日の休日要因から、交換枚数が前年同月比で1,091枚、18.35%の大幅な減少、前月比でも654枚、11.87%と大幅に減少している。また、交換金額も同様に前年同月比で596百万円、12.00%の減少、前月比でも995百万円、18.54%の大幅な減少となった。なお、不渡手形は5枚、3百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産6件（前年同月5件、前月8件）、負債総額25億円（同177億円、同40億円）、1件当たりの負債額4億円（同35億円、同5億円）となっている。地区別では下越地区で3件（新潟市2件、村上市1件）、中越地区で3件（南魚沼市3件）、上越地区では発生していない。業種別は製造業4件、販売業2件となっており、倒産原因については、販売不振4件、経営計画の失敗1件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は6件、負債総額で25億円と前年同月比では件数で1件増加、負債総額では152億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が1件発生している。

経済環境は、これまで国内景気の牽引役であった外需の減退にともない、県内でも工場の閉鎖や休業が表面化するなど、生産調整の広がりを見せている。一方、雇用環境の悪化から個人消費の低迷が懸念されるため、企業全体の経営環境はさらに厳しさを増していくものと思われる。